

2018 年秋学期の全時間訓練のための  
メッセージアウトライン

主題：  
中心的なビジョン

メッセージ 2

神とミングリングされて神の成長をもって成長し、  
神によって造り変えられて神の建造のために神を供給する

聖書：サムエル下7:12-14前半、コロサイ2:19、マタイ13:18-23、ヨハネ17:11, 21、  
エペソ4:15-16

- I. キリストのからだである召会は三一の神の有機体です。召会の建造は、わたしたちが神とミングリングされることによって、神の成長をもって成長し、神によって造り変えられ、成就されて一となって、神の建造のために神を供給します——エペソ1:22-23、4:4, 16、レビ2:4-5、コロサイ2:19、使徒6:4、ヨハネ17:23、参照、エペソ4:11-13：
- A. 真の建造は命における成長であり（I コリント3:6-12前半、エペソ2:21-22）、真の建造は命における造り変えであり（ローマ12:2）、真の建造はからだの一、三一の神の中の一です（エペソ4:4-6, 12-13、ヨハネ17:21, 23）。
  - B. 神と人とのミングリングとからだの一は、聖書における、またわたしたちのクリスチャン生活における中心的な事柄です。その一は体温計のようです。それは、わたしたちがどれくらいミングリングの中にいるかを告げることができます。神とのミングリングの結果は、からだの一です——I コリント6:17、12:13とフットノート1。
  - C. 神と人とのミングリングは命における成長と造り変えをもたらし、またこのミングリングはわたしたちの霊の食物また飲み物であるキリストを食べ、飲み、消化し、吸収することによって起こります——ヨハネ6:57, 63、I コリント10:3-4。
  - D. キリストを食べ飲みすることによって彼を享受すればするほど、わたしたちはますます造り変えという内なる霊的な新陳代謝を経験します。それは召会の成長でもあり建造でもあります——エレミヤ15:16、ヨハネ4:10, 14、ローマ12:2、マタイ16:18。
  - E. 神のエコノミーはご自身をわたしたちの中へと造り込むことであり、それは、わたしたちが霊的な消化と同化という過程を経験して、わたしたちの全存在において彼に主要な道を与えることによって造り変えられ、神の建造へと至るためです——エペソ3:16-19、マタイ5:3, 8、イザヤ66:1-2、詩51:10-12。
  - F. 霊的な新陳代謝という過程を通して召会を有機的に建造することは、実際には、サムエル記下第7章12節から14節前半においてエホバがダビデに預言したことです。

この過程を通してのみ、人の何か（人の子孫）が神（神の子たち）となり得ます。

**II. マタイ第13章が啓示しているのは、キリストがまく者、神聖な命を分与する方であり、ご自身を命の種（神の言）として、人の心を伴う人の霊の中へとまき、わたしたちの中で神聖な種としてのキリストを成長させ、神の耕された地、神の建物とならせるといことです——ヨハネ10:10後半. マタイ5:3, 8, 13:3, 8, 18-23. マルコ4:14.**

**ヨハネ6:68. マルコ12:30. Iコリント3:9 :**

- A. わたしたちの中で命の種としてのキリストが成長するために、わたしたちは日ごとに主と取り組んで、霊の中で貧しくなり、霊の中でからにされて、その霊であるキリストがなければ、すなわち、新しい、現在の、「今の」キリストがなければ、わたしたちは何も持たず、何も行なうことができず、何者でもないことを認めなければなりません——マタイ5:3. ヨハネ8:58.
- B. わたしたちの中で命の種としてのキリストが成長するために、わたしたちは日ごとに主と取り組んで、心が純粹であり、何ものにもまさってわたしたちの心を見守らなければなりません——マタイ5:8. 箴4:23 :
1. わたしたちは心を尽くして主を愛し、道ばたのようにこの世の往来によって心がかたくなにならないようにしなければなりません——マタイ13:19.
  2. わたしたちは心を尽くして主を愛し、隠れた罪、個人的な願望、私利を図ること、自己憐憫で心が浅薄にならないようにしなければなりません。それらのものは岩であり、命の種がわたしたちの中に根ざすのを妨げます——20-21節。
  3. わたしたちは心を尽くして主を愛し、時代の思い煩いと富の惑わしから心を守らなければなりません。それらは命の種の生長を阻止するいばらであり、わたしたちを実のない者にします——22節。
  4. わたしたちは心を尽くして主を愛し、わたしたちの心をすべて彼にささげなければなりません。それは心が、人性のすべての栄養素をもって神聖な種を供給する良き地となって、主がわたしたちの中で成長するためです——23節. 参照、12:34-37.
- C. わたしたちの中で命の種としてのキリストが成長するために、わたしたちは人の霊、人の心、朽ちる体を新鮮に、日ごとにささげ、またその献身を更新する必要があります。それは、神聖な命の種がわたしたちの中で、わたしたちの内なる存在の人性のすべての栄養素の全き供給をもって成長して、キリストがわたしたちの朽ちる体において大きく表現され、わたしたちが命によって飲み尽くされて、キリストのからだの建造へと至ることができるためです——マタイ5:3, 8. 箴4:23. 20:9. 22:1
1. ピリピ1:20. コロサイ2:19 :
  1. わたしたちは時間を取って神を吸収する必要があります。それは、わたしたちが神の成長をもって成長して、神の家また神の王国としての召会を建造するためです——19節. イザヤ50:4-5. マルコ1:35. 参照、ルカ8:13.
  2. 主に仕える者たちが見なければならないのは、彼らの奉仕が神から生じたものでなければならないということです——参照、使徒22:7-10 :
    - a. 「神のゆえに働きを中止することができない者はだれでも、神のために働くことはできない」——M・E・バーバー。

- b. ダビデは神の宮を建てる機会を得て、その必要を見て、その能力を持っていたが、神の言が彼に来たとき、彼は中止しました——サムエル下7:18, 25, 27. 参照、ルカ1:38。
  - c. ダビデが中止したことは、宇宙において二重の証しを確立しました。第一に、この宇宙における働きは人からではなく、すべて神から来るべきです。第二に、重要なのは、人が神のために何かを行なうことではなく、神が人のために何かを行なうことだけです——ローマ11:36. 参照、民18:1。
  - d. 宮を建てる者も宮の敷地も、ダビデが彼の罪を赦されたことから、神がダビデのために行なったことから出て来ました——サムエル下12:24-25. 24:1-10, 18-25. 歴代上21:18. 歴代下3:1. 詩第51篇。
  - e. わたしたちは神がわたしたちに語り、わたしたちを導くことを必要とします。それから、わたしたちは彼を畏れ、彼を愛するがゆえに、彼に協力する必要があります——出21:1-6. 詩86:11. I コリント2:9。
3. わたしたちが自分たちの霊の中へと増強されなければならないのは、わたしたちの霊の中で、霊をもって、真実としてのキリストをもって神を礼拝するためであり、またキリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造るためです——エペソ3:16-19. ヨハネ4:23-24。
  4. わたしたちの心は堅固にされ、聖別の中で責められないようにする必要があります。わたしたちは主がわたしたちの心を神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと導いてくださるよう求める必要があります。また、わたしたちが心を対処する必要があるのは、それが良き地となって、キリストが妨げられることなく成長することができるためです——I テサロニケ3:13. II テサロニケ3:5. マタイ13:8。
  5. わたしたちは、わたしたちの赦す命である内住のキリストによって心から他の人々を赦し、王国の実際のために、わたしたちの中で彼に王として支配していただく必要があります、また、裁定する平安としての内住のキリストによって心から他の人々を赦し、新しい人のためにわたしたちの中で彼に統括していただく必要があります。わたしたちは他の人々を赦すことによって彼らを解き放つ必要があるのですが、それはわたしたちが解き放たれて神によって赦され、神の種がわたしたちの中で生長する自由を得るためです——6:15. 18:35. コロサイ3:12-15. ルカ6:37。
  6. わたしたちは神の福音のために、命の種をまき拡大させるために、秘かに自分の財物をささげ、神の召会、神の窮乏している聖徒たち、神の全時間奉仕者たち、貧しい人たちに、神の愛の中で、神の優しさをもって、わたしたちの物質の供給をささげる必要があります——38節. I コリント16:1-2. マタイ6:1-4, 19-21. 19:21. 使徒11:29. ローマ15:26. ピリピ4:16-17。
  7. わたしたちは人の住む全地に、キリストへの改心のために未信者にも、キリストにおける成長のために信者にも、神の王国の福音を宣べ伝えることによって、神の言である命の種をまく必要があります。これは、キリストの計り知れない豊富を福音として告げ知らせることによって、また神の家また神の王国としての召会

を建造するために預言することによって、命の種をまき、植え、水を注ぐことで  
す——マタイ24:14. ローマ1:1. エペソ3:8. Iコリント3:6. 14:4後半, 31。

**Ⅲ.** ヨハネ福音書第17章が啓示しているのは、わたしたちが三一の神とミングリングされる  
ことによって、彼の中で建造されて一となることは、三一の神が一であるように、  
わたしたちが彼の一つの証し（一つの表現）、彼の一つのからだ（一つの有機体）、  
彼の一つの都（一つの表現）のために一となるためであるということです——11, 21  
節. 啓1:11-12. エペソ4:4. 啓21:2, 11 :

- A. わたしたちは三一の神の混ざり合わせ結合する命（わたしたちの一の要素）によっ  
て天然の人から救い出され、彼の中で建造されて一となります——ヨハネ17:2-3,  
6。
- B. わたしたちは三一の神の洗い聖別する言（わたしたちの一の手段）によってサタン  
的なこの世から救い出され、彼の中で建造されて一となります——14-19節。
- C. わたしたちは三一の神の光を發し輝く栄光（わたしたちの一の表現）によってわた  
したちの分裂的な自己から救い出され、彼の中で建造されて一となります——21-2  
4節。

**Ⅳ.** からだの有機的な建造はからだの成長であり、からだを建造するその務めの働きは命  
における成長の中で成就された聖徒たちによって直接達成されます——エペソ4:11-1  
6 :

- A. 命におけるからだの成長はかしの「中へと」ですが、奉仕におけるからだの機能  
はかしら「から出」ます——15-16節 :
  - 1. わたしたちがあらゆることでキリストをかしらとし、彼と親密につながり続け、  
すべてのことで彼の中へと成長するとき、わたしたちは彼の命の豊富をもって供  
給されて、神を命として、からだの他の肢体たちの中へと供給します——コロサ  
イ2:19. Iコリント14:4後半. ヨハネ7:37-39. ペリピ1:25。
  - 2. 祈りによって、わたしたちはかしらの中へと成長し込み、神の言の務めによって、  
わたしたちはかしらから機能します。これは、キリストの天の務めにおいて彼と  
一となって、召会を建造するためです——使徒6:4. 参照、ヘブル7:26. 8:1. I  
コリント14:4後半。
  - 3. キリストのからだを建造することは、その霊で満たされ、聖徒たちが命において  
成長するために、その霊を彼らの中へと供給することです——IIコリント3:2-3,  
6, 8. 5:18-20。
- B. かしらであるキリストから、からだ全体（供給の節々と活動するそれぞれの部分）  
は、キリストのからだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至ります。愛  
は、キリストのからだを建造するための最も卓越した道です——エペソ4:16. Iコ  
リント12:31後半. 13:13. ヨハネ13:34-35。